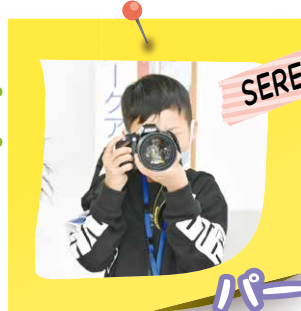


えもんみっけ!

こども市民 レポーター

市民レポーターがさまざまな場所に出掛け、市民の目線でお店や施設、イベントなどを紹介する「市民レポーターのページ・えもんみっけ」が、今年も「こども市民レポーター」特別企画を実施。市内の小学校に通う子どもたち5人が参加し、取材・編集を体験しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いつもと同じとはいかなかったけれど、時期も取材・編集も新しいスタイルで挑戦しました。学校が違ったり、学年が違ったりしたけれど「広報を作ろう!」と、みんなで頑張ることができました。



SEREN ITO



YUI HIRATA



ASA IZUMI



ASAKI FUNAHASHI



RISA SHIMIZU

パークアリーナ
小牧チーム

市民会館チーム



こども市民レポーターの皆さん





いつも見えない 舞台の裏側を探検!

市民会館にある大ホールに行ってみました。照明や音響の仕事を経験して、普段は行くことのできないセットの裏側や舞台の上のすのこ、客席の天井裏も見学してきました。



入口正面ロビーにはアートな壁面。黄色の大きな円は、一つが月、もう一つが太陽を表しています。

取材に行ってきました!



清水 璃桜 (小牧小6年) ⑤、
和泉 亜咲 (味岡小6年)

舞台袖にある舞台監督の居場所。音響や照明など从这里から指示を出します。



舞台に向かって左手にある調光室。モニター画面や窓から舞台を見てつまみを上げ下げし、色や明るさを調節します。



舞台に向かって右手にある音響室です。音は目に見えないので、自分の耳で聞いて調整します。会場は音が反響してよりよい音が聴こえるよう設計されています。



幕や道具、照明を吊るためのバトンを昇降する綱元。おもりを鎮め、1つ12kgあります。



舞台天井に設置される反響板です。一番大きなものは、5.1tもあります!

舞台に立っている人の表情や演技がよく見えるように客席側から舞台を照らしています。



取材先



市民会館

住所: 小牧2-107
電話: 77-8205
開館時間: 9:00~21:30 (受付は、~20:00)
休館日: 月曜日、年末年始 (12/29~1/3)



客席の天井裏に設備されたシーリングライトに行くための通路です。バランスをくずしそうで、歩きにくかったです。

取材を受けてもらいました！



まずは、大ホールのロビーにて。緊張もあったけど、一生懸命メモを取っています。



10月22日、午後3時頃から市民会館の大ホールを取材しました。市民会館内で、一眼レフカメラの使い方を学び、取材がスタートです。演劇やコンサートなどが開かれな

取材を受けてくれたのは、こまき市民文化財団の皆さんで、右から音響担当・森部憲司さん、舞台監督の佐藤英一さん、照明担当の伊神理加さん、音響担当の早川恭臣さん、照明担当の長田義法さん。

文化・芸術活動の拠点である市民会館。素晴らしい舞台が創られている裏では、いろいろな技術を持った舞台の「黒子」たちが頑張っていることを理解してもらえて良かったと思います。

い限り入ることのない大ホールはとても広い空間で、間近に見る舞台装置の想像を越える大きさに子どもたちはびっくり。いつもは客席から見上げる舞台も、今日は舞台上から客席を眺めます。「こんな風に見えるんだ」と、話す子どもたち。舞台の袖の舞台監督が指示を出すスペースで、大きな舞台装置を操作する様子に圧倒されました。

取材を受けてくれたこまき市民文化財団の伊神さんが、事前に子どもたちがリクエストをした曲を用意していてくれて、照明で曲のイメージを作っていてくれました。決して遊びではなく、舞台は、演じる人のパフォーマンスに舞台装置、照明、音響の効果がプラスされて最高の舞台になる。それぞれの技術の結集で、普段私たちの見ている素晴らしい舞台は創られているということを感じさせてくれました。



音響装置に触って、音の変化を楽しんでいます。

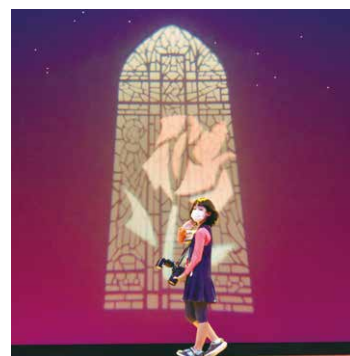
子ども市民レポーターとして頑張りました



大好きな「美女と野獣」の照明と音楽を舞台上に表現してもらい、主人公のベルになったような気分になりました。夢中でカメラのシャッターを押しました。



普段、入れない所に行くことができてワクワクしました。照明や音響の仕事を経験できて楽しかった。客席の天井裏にある照明の場所は高くて怖かったです。



清水さんの選んだ美女と野獣の音楽と照明の中、舞台で感動していたそうです。



市民レポーターと一緒に相談しながら、写真選びをしています。写真の説明文は、家で考えてきましたが、2人で検討して決めました。キャッチコピーはちょっと自信作かも。

ブカブカのヘルメットを被り、工事現場のような場所を抜けるとスポットライトがずらりと並ぶシーリングに。とても高い場所に2人は少し不安そうでしたが、興味津々。絶対に普段は行けない場所を次々と見て、聞いて取材でき、とても満足そうでした。





取材に行ってきました！



平田 結さん(大城小6年)㊤、
伊藤 星漣くん(小木小5年)㊦、
船橋 明咲さん(小木小5年)



サッカー場。ここで練習試合をやろうと言
うと、どのチームも参加してくれるほど良
いグラウンドなんだって。

すげえぞ！
パークアリーナ小牧
パークアリーナ小牧は平成13年に建
てられました。選手控室や音響室など広
くて掃除が大変そう！他にも外に遊
具があり、遊ぶこともできる楽しい場
所です。パークアリーナを紹介しまし
ます。



ココにいます！
思ったより
高い！



観客席より高いところから見たメイ
ンアリーナ。バレーボールやバスケ
ットボールなど公式大会ができる本
格的なアリーナです。



正面玄関から小牧山
が真正面に見えるよ
うに設計されていま
す。写真㊤の中央が
小牧山です。



この倉庫には成人
式に使うイスやバ
スケットゴールが
置かれています。



この倉庫には看板やカ
ラーコーンがいっぱい
置かれています。



選手のロッカーや着替
える場所で、作戦会議
もできます！

取材先



パークアリーナこまき

住所：間々原新田737
電話：77-7712
開館時間：8:30～21:30（受付は、～20:00）



案内や音楽を流したりす
る場所・音響室です。



サブアリーナは「サブ」なのに、
縦 30m、横 40m、高さ 13m
もあって、とても広いです。

取材を受けてもらいました！



取材を受けてくれたのは、スポーツ協会事務局次長の松本文弘さん（写真左）と土方康史さんです。子どもたちはとても真面目に話を聞いたり、質問をくれたりしました。紙面ができあがるのが楽しみです。

10月29日、午後4時頃からパークアリーナ小牧の取材が始まりました。まずは、事務所でスポーツ協会常務理事・舟橋武仁さんのご挨拶。エントランス、サブアリーナ、サッカー場へと移動しながらの取材で、撮影やメモと忙しそうなお三人。サッカー場では、ラインについて、



こども市民レポーターの腕章、名札、メモ帳などをしっかり持ち、スポーツ協会舟橋常務の話聞く3人。最初だけあり、ちょっと緊張気味です。



メインアリーナ天井付近まで登ってきて、少し怖そうなお表情を浮かべる船橋さん。勇気のある中学生は職業人体験でさらに上まで登るそうです。

人工芝の上にもかれたチップのことなどを聞き、思わず手にとり触ってみました。名古屋市内のスポーツで有名な私立高校のサッカー部も夕方からバスで来て練習するほどのサッカー場なのだそうです。倉庫などの裏では、目にするだけ

ど、気に留めていなかった案内看板の多さに驚く子どもたち。駅伝やマラソン大会に使われる巨大なコーンにもびっくり！

選手控室では、公式試合の時に違うチームの選手同士の接触を避けるための工夫を聞いて、思わず「え、すごい！」と話していました。

メインアリーナでは、一般の人が入ることのできない観客席の上の場所へらせん階段をのぼって入らせてもらい、会場全体を見学しながら、詳しい説明を受けました。

最初は緊張した雰囲気でしたが、徐々に質問も飛び交い、取材を楽しむ雰囲気になりました。重たい一眼レフカメラを首に下げて、必要なことを立ったままメモするなど立派な記者さんでした。

こども市民レポーターとして頑張りました！



メインアリーナの高いところに登って見たアリーナは広かったです。いろんな倉庫に行ったり、普段、みんなが行けない場所に入れた良かったです。



メインアリーナの高いところが怖かったです。サブアリーナもメインアリーナも広かったです。遊べて楽しい！公園もあってパークアリーナは良い所です。



今年は去年と違う形で取材をしました。一眼レフカメラを使ったり、たくさん質問ができて良かったです。また、小牧の魅力調べてみたいと思います。



写真④ 人工芝の間にまかれていた砂のようなチップを見る子どもたち。白線も最初から白く染められています。
写真⑤ 男子トイレの中。奥の扉の先には普段は使われないトイレがあります。イベントの内容によりトイレの数を男性、女性どちらにも増やせるよう調整ができる扉なのだそう。